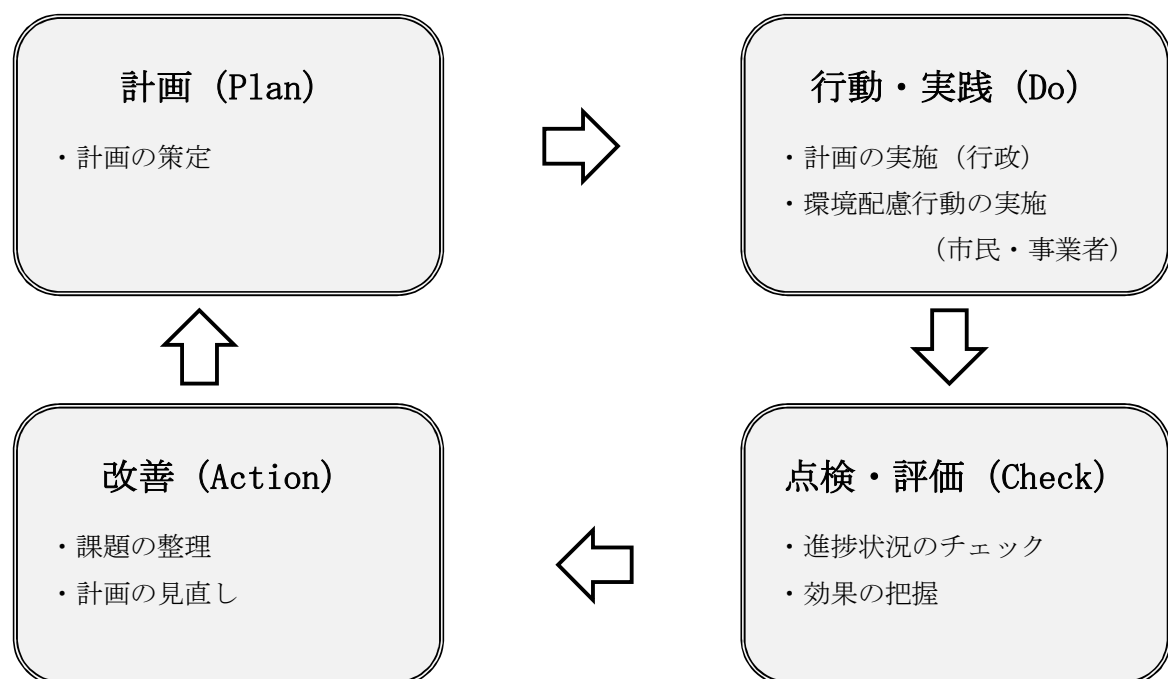


◎計画の進行管理

市（行政）の取組みについては、担当課長が毎年度の目標を設定し、取組項目は目標に対する達成度で評価します。

市民及び事業者の取組みについては、概ね3年に1回アンケート調査を実施し、環境配慮行動の実施状況等の把握に努めます。

計画の見直しについては、アンケート調査の結果等を踏まえ、必要に応じて実施します。



第2次君津市環境基本計画

《概要版》

◎君津市の環境の現況

君津市は、市域のおよそ3分の2を森林が占め、貴重な動植物が生息・生育する房総半島を代表する自然の宝庫となっています。また、小糸川や小櫃川は県下有数の清冽な水質を保っているほか、掘り抜き井戸から地下水が豊富に湧き出すなど、豊かな水資源を有しています。

一方で、一部の地域では、降下ばいじん、地下水汚染、廃棄物の不法投棄などが問題となっているほか、山砂採取場、残土事業場、廃棄物最終処分場の及ぼす環境への影響も懸念されています。

さらに、事業活動に伴う問題だけでなく、日常生活に起因して発生する問題や、温室効果ガスによる温暖化といった地球規模の問題にまで拡大しています。

◎環境基本計画とは

「君津市まちづくり構想」では、「人が集い 活力あふれる 健康都市 きみつ」を将来都市像として掲げ、防災・生活安心・環境の分野では「安全安心に暮らせる自然と共生するまち」を目指すこととしています。

「第2次君津市環境基本計画」は、「君津市まちづくり構想」を環境面から推進するため、平成27年度から平成36年度までの10年間で実施する、環境の保全に関する施策をまとめたものです。

また、市（行政）、市民、事業者の各主体がそれぞれの責務や役割を理解し、連携しながら、豊かで貴重な環境を次の世代へ継承していくことを目的としています。

計画の対象とする地域は君津市全域ですが、市域を越えた取組みが必要となる場合には、近隣市のほか県や国と連携していきます。

◎めざす環境像

「君津市まちづくり構想」における環境保全に関する基本施策は、澄んだ空、清らかな水、緑豊かな自然、快適な住環境を守るために、環境に配慮した行動を率先して実行するとともに、環境への負荷が少ないクリーンエネルギーの導入を推進することとしています。このため、環境基本計画におけるめざす環境像は、次のとおりとします。

澄んだ空 清らかな水 緑あふれるまち きみつ

第2次君津市環境基本計画の体系図

環境像

澄んだ空
清らかな水
緑あふれるまち
きみつ

基本方針	具体的な取組項目		
	市（行政）の取組	市民の取組	事業者の取組
① 澄んだ空を守ります (大気汚染)	<ul style="list-style-type: none"> ◆大気環境の常時監視 ◆環境保全協定に基づくばい煙等の監視 ◆山砂の輸送に伴う粉じん等の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ◆野焼きを行わない ◆エコドライブの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆エコドライブの実施 ◆ばい煙発生施設の管理 ◆山砂ダンプからの粉じんの飛散防止
② 清らかで豊富な水資源を守ります (水質汚濁・地下水汚染)	<ul style="list-style-type: none"> ◆河川等の水質調査 ◆環境保全協定に基づく工場排水の監視 ◆合併処理浄化槽の普及促進 ◆浄化槽の適正管理に関する啓発 ◆地下水汚染の浄化と監視 	<ul style="list-style-type: none"> ◆節水に努める ◆油や食べ残しを排水溝へ流さない ◆洗剤の適正利用 ◆農業や化学肥料等の適正使用 ◆合併処理浄化槽への転換等 ◆浄化槽の適正管理 	<ul style="list-style-type: none"> ◆節水に努める ◆排水の水質測定と排水処理施設の管理 ◆排水処理施設の点検
③ 快適な住環境を保全します (騒音・振動・悪臭・地盤沈下)	<ul style="list-style-type: none"> ◆工場騒音や航空機騒音等の調査規制 ◆工場や事業場などの振動の調査規制 ◆山砂輸送に伴う騒音等の調査 ◆悪臭発生源の特定と原因者への指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◆揚水施設の設置規制 ◆揚水量の調査 ◆水準測量の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆カラオケ等の音量や時間帯への配慮 ◆ペットの鳴き声などの配慮 ◆カラオケ等の音量や時間帯への配慮 ◆事業活動に伴う騒音等の軽減 ◆低騒音型機器の導入や防音・防振設備の設置 ◆地下水の過剰な汲み上げの抑制
④ 緑あふれるまちへ再生します (山砂採取・残土埋立て ・廃棄物最終処分場)	<ul style="list-style-type: none"> ◆山砂採取場跡地の復元・緑化の指導 ◆残土事業場と廃棄物最終処分場の搬入状況の監視調査や管理運営の指導 ◆山砂採取場と残土事業場の排水の監視 	<ul style="list-style-type: none"> ◆廃棄物最終処分場の排水の監視 	<ul style="list-style-type: none"> ◆土砂の崩落や流出の防止 ◆廃棄物の適正処理や残土の有効活用 ◆裸地等の緑化及び自然環境の修復 ◆周辺の景観への配慮
⑤ 資源循環型のまちをつくり (ごみ減量・リサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみの排出量の削減 ◆ごみの再資源化率の向上 ◆ごみ減量とリサイクルの推進のための啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみの減量化 ◆ごみ分別やリサイクルの実施 ◆エコバッグの持参 ◆簡易包装商品の選択 ◆環境に配慮した商品の選択 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみの減量化 ◆ごみ分別やリサイクルの実施 ◆紙の使用削減 ◆プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルの推進
⑥ きれいなまちをつくり (不法投棄・環境美化)	<ul style="list-style-type: none"> ◆不法投棄監視活動の実施 ◆不法投棄マップの作成・公表 ◆散乱ごみ一掃クリーン作戦の実施 ◆環境美化推進ボランティアの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き地等の適正管理の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポイ捨て（不法投棄）をしない ◆ペットのふんを持ち帰る ◆土地や建物の管理の徹底 ◆地域の美化活動等への参加・協力 ◆土地や建物の管理の徹底 ◆地域の美化活動等への参加・協力
⑦ 安心・安全なまちを目指 (放射性物質)	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設の空間放射線量の測定 ◆水道水、学校給食食材、農産物等の安全性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般家庭の空間放射線量の測定 ◆廃棄物最終処分場の排水の検査 ◆放射性物質に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ◆放射性物質に関する正しい知識の取得 ◆放射性物質濃度の値などの情報収集 ◆放射性物質に関する正しい知識の取得 ◆放射性物質濃度の値などの情報収集
⑧ 未来に向けた環境づくりに 取り組みます (地球温暖化対策・省エネルギー)	<ul style="list-style-type: none"> ◆市の事務事業に係る温室効果ガス排出量の削減 ◆環境マネジメントシステムによる継続的な環境負荷の低減 ◆市の施設への省エネ設備の導入 ◆一般住宅におけるクリーンエネルギーの導入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◆冷暖房の適正な温度設定 ◆部屋の照明などをこまめに消す ◆自動車の利用を控える ◆なるべく公共交通機関を利用する ◆エコドライブの実施 ◆省エネ型電化製品の購入 ◆クリーンエネルギーの導入 ◆エコマーク製品等の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業所内の省エネ化 ◆温室効果ガス排出量の把握 ◆エコドライブの実施 ◆省エネ型電化製品の購入 ◆クリーンエネルギーの導入 ◆エコマーク製品等の購入
⑨ さまざまな生き物の住む環境を 保全します (生物多様性・自然保護)	<ul style="list-style-type: none"> ◆丘陵地の樹木の保全 ◆動植物の生息環境等の情報提供 ◆野生動植物の保護に関する啓発 ◆保存樹木の指定と維持管理の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◆緑化協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然や生き物に関心を持つ ◆動植物などをむやみに捕獲・採取しない ◆外来生物を見かけたら市に情報提供する ◆事業所周辺の自然環境に配慮する ◆自然や生物に配慮した開発行為 ◆事業所・工場内における緑化の適正化
⑩ 環境への意識を育みます (環境学習)	<ul style="list-style-type: none"> ◆「エコスクールきみつ」の推進 ◆市民に対する環境学習の機会の提供 ◆環境に関する情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境教育、環境学習に協力する ◆市の環境学習講座を利用する ◆環境イベント等に参加する ◆環境に関する情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社員に対する環境教育の実施 ◆環境目標やガイドライン等の設定